

U-23女子で菊池日出子が優勝

2007ASTCアジア選手権トンヨン大会速報1

ジュニアは、女子で高橋が2位、男子は宇都宮が3位

6月1(金)、韓国・トンヨン市特設コースで2007ASTCアジア選手権が行われた。

午前9時スタートのU-23女子は、水温が17.5度となってウエットスーツ着用許可となった。

まず、ユ・ジュンファン(中国)とジュン・ウンジン(韓国)がスイムで逃げたが、バイクに入ると菊池日出子(チームテイケイジュニア)、伊藤弥生(福岡県連合)、太田麻衣子(千葉県連合)、西麻依子(埼玉県連合)がすぐに追いつき、ジュが下がるなか5名の第1集団ができた。

ここから中盤、菊池が一人抜けだし、1分弱のアドバンテージを得てランへと移った。

ランでは、自分のペースを守った菊池が、ほかを寄せ付けず、優勝を飾った。2位には、菊池のあとを粘り強く追った伊藤弥生(福岡県連合)が入った。

午前11時10分にスタートしたU-23男子は、小野友行(神奈川県連合)がスイムをリード。韓国選手一人を挟んで長谷川裕一(東京ヴェルディ)が続いた。バイクでも小野、長谷川が終始リードしたが、ランに入ると失速し、追い上げたカザフスタンのパウアー・ローマンが優勝した。日本選手は、若杉摩耶文(日本体育大学)の6位が最高位。

午後1時30分スタートのジュニア女子は、リー・ソンナン(韓国)がスイムでリードすると、バイクでも高橋侑子(東京ヴェルディ)、山本奈央(愛知県連合)、キム・ヒージュ(韓国)とともに



トンヨンは明るい港町だ。ジュニア男子のスタート



会場は、すべて港につくられた。U-23のバイク

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー



U-23女子で菊池日出子が優勝

2007ASTCアジア選手権トンヨン大会速報1

第1集団を形成した。

ランでは、リーが飛び出したまま独走し、優勝した。

2位には高橋が、3位には山本が入った。

午後2時40分にスタートしたジュニア男子は、ヘオ・ミンホとキム・ジュスクの二人の韓国選手がスイムをリード。宇都宮涼太(ウイングスTC)が代食い下がり、バイクを経てラン勝負に持ち込んだ。

ランでは、ヘオとキムがリードし。ヘオが優勝。宇都宮は、粘って3位となった。

明日は、アジア選手権エリートのレースが午前10時男子、午後1時15分のスタートで行われる。

レースの様子は6月3日(日)夕刻より、フォトギャラリーでご覧になれます。



菊池(左から二人目)は、積極的にバイクを引いた

菊池 日出子

(チームテイクエイジュニア)



昨年はケガで苦しんだ。今年は、体重を落としてレースに臨んでいる。スイムで遅れたが、2周目までに追いつこうと思って走った。バイクは得意なので、苦しかったが我慢できた。バイクで1分弱後続を離れたのが勝因。ランでは、1周目がうまく走れなかったが、逃げ切れた。

高橋 侑子

(東京ヴェルディ)



ランで韓国の選手が二人、前を走っていた。そのうちにトップの選手が落ちてきて、追い越したが、最初から前を走っていた選手は、ついに追い越せなかった。バイクがきつかった。まだ経験が足りないので、ドラフティングがうまくできない。次も頑張りたい。

宇都宮 涼太

(ウイングスTC)



スイムの中盤でバトルに巻き込まれて集団から離れた。バイクでは序盤、10秒前をゆく集団にすぐ追いつけたのが良かった。そのあと逃げた一人を集団で追ったが、追いつかなかった。ランでは1周目に落ちたが、世界選手権代表のために3位がほしかったので頑張った。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

